

北神けいろうの国政報告：2月号

通常国会が開会

○ いつも大変お世話になっております。

先月1月25日に通常国会が開会。安倍総理は、憲法改正が今国会のもっとも大きなテーマと位置づけているようです。私たち民主党は「政治は生活である」という信念の下で、むしろ広がりつつある個人間の格差、さらには、地域間の格差を是正するために全力で頑張ります。

○ 格差それ自体は、必ずしも悪いとはいえません。それよりも努力しても最低限の生活ができない人が増えていることや、豊かな生活を送る機会が平等に与えられていないことが問題なのです。

若者たちと高齢者が見捨てられつつある!!

大雑把に申し上げれば、30代半ば以下の若者たちと高齢者（特に年金生活者）が、今見捨てられつつあると言っても過言ではありません。その現われとして、こうした方たちの貯蓄率は平均からみて、大変低い水準にあります。これは、稼ぎがあまりにも少ないため、貯蓄ができないか、あるいは

世界経済フォーラム("World Economic Forum"、略称 WEF)は、ジュネーブに本部を置く独立の非営利財団です。ダボス会議の主催団体として有名で、主なメンバーは、世界中の大企業約1000社からなる組織です。

※) 世界経済フォーラム <http://www.weforum.org/>

は、貯蓄を取り崩してしか生活ができないことを示しています。

この背景には、若者が、労働市場の規制緩和の中で、正規の職に就く機会が奪われてしまっています。また高齢者は、異常な低金利政策の下で、預金の利子所得がほとんど期待できないのです。

安心のできる生活を確保!!

○ 政治は、この状況を放置すべきではありません。格差の問題だけではないのです。安倍政権が掲げている経済成長の観点からも、稼ぎが増えなければ、当然消費も期待できません。いつまでも外国に頼るような景気回復は、極めて脆弱な回復です。

経済政策の究極の目的は、効率ではなく、国民の皆様が安心できる生活を確保することにあります。

○ 以上の視点を踏まえ、しっかりと国会で頑張ります。また、1月末には、亀岡市議会選挙で民主党が議席を増やしましたが、4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙でも、こうした問題について有権者の皆様の判断をいただくこととなります。ご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。

「ヤング・グローバル・リーダー」とは、政治・経済界や文化・学術研究、スポーツ、社会活動などで実績を上げ、将来的に国際舞台での活躍が期待される40歳以下の人物を選出するものです。今年度は、約70カ国から計250名が選出されており、日本の選出メンバーは15名となりました。